

## 第5回 学校給食改革本部会議 議事録

令和4年10月26日

議題1 第3回学校給食あり方検討委員会について（報告）

議題2 給食センターのモデルプランについて

議題3 概算事業費について

議題4 給食センターの候補地について

議題1～4を併せて資料に従い説明

（説明者：学校給食・規模適正化担当部長）

### （1）主な意見等

（市長）概算事業費について、PFIなどの民間活力の活用を検討となっているが、PFI手法にすれば、事業費は下がるのか。

（学校給食課長）一般的に下がるが、事業の条件のほか、資材高騰などの状況にもよる。現在、PFI手法で実施した場合の事業費を算定中である。

（財政局長）南側の配送圏域の最有力候補地となっている旧東清掃事業所に新たな給食センターを建設する場合、給食センターの建設費などに加え、既存施設の解体の期間と金額を確認し、解体費用なども含め総事業費等を明らかにする必要がある。

（隠田副市長）土壌調査はいつ行うのか。

（学校給食課長）昨年度の調査で鉛が出た区域があり、今年度追加調査中とのこと。

（隠田副市長）土壌調査の結果によっては、給食センターの建設が遅れてしまうのか。

（学校給食課長）鉛が土地の一部から出ているほか、既存建物下の土壌は解体後の調査となる。給食センターの配置や土壌対策などについては、今後調整していきたい。

（市長公室理事）旧東清掃事業所を所管する環境経済局長もこの本部会議に入ってもらえるべきではないか。

（学校給食・規模適正化担当部長）関係者として招致する。

### （2）結果

原案のとおり、承認。

以上

## 第5回 学校給食改革本部会議

日 時：令和4年10月26日（水）  
午後1時30分～2時15分  
会 場：第1特別会議室

### 議題

（1）第3回学校給食あり方検討委員会について（報告）

（2）給食センターのモデルプランについて

（3）概算事業費について

（4）給食センターの候補地について

## 【出席者名簿】

### 1 構成員

	役職	職名	氏名	出欠
1	本部長	市長	本村 賢太郎	出
2		教育長	渡邊 志寿代	出
3	副本部長	副市長	大川 亜沙奈	出
4			森 多可示	出
5			隠田 展一	出
6	本部員	市長公室長	榎本 哲也	出
7		市長公室理事（政策調査担当）	石井 賢之	出
8		総務局長	奈良 浩之	出
9		財政局長	岩本 晃	出
10		教育局長	高橋 良明	出
11		総合政策・少子化対策担当部長	高林 正樹	出
12		財政担当部長	秋山 亮	出
13		学校給食・規模適正化担当部長	片岡 聡一	出
14	学校教育部長	細川 恵	出	

### 2 招致関係者

	職名	氏名	出欠
1	緑区長	石原 朗	出
2	中央区長	田野倉 和美	出
3	南区長	菅谷 貴子	出

# 第5回学校給食改革本部会議

---

令和4年10月26日(水)

## 中間答申（骨子）

### 中学校給食の方向性

可能な限り早期実現  
持続可能な運営

安全安心  
温かい給食

学校給食を活用した  
食育の充実



### 本市にとってふさわしい 給食提供の実施方式

**センター方式** を基本

センター方式の導入が困難な学校は、  
【自校方式】 【親子方式】の順で検討

### < 最終答申へ向けた検討課題 >

全員喫食の環境を活用した食育の方針  
学校現場における給食運営

なお、食育の取組や、実施方式について  
自校方式及び親子方式も排除せずに見直し  
を定期的に行うべき

## 新たな給食センターについて

最低でも 2か所 必要

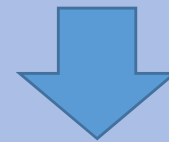
### 安全安心で温かい給食提供

- ・ 学校給食衛生管理基準への適合  
（作業区域の区分、ドライシステム、調理場の適温管理、食品の適温保管、調理器具等の適切な洗浄・保管）
- ・ 食物アレルギー対応
- ・ 安定した配送体制
- ・ 適温提供

### 持続可能な運営

#### 新たな給食センター

- ・ 生徒数の減少による供給能力の余剰を有効活用



**既存施設の更新期間中の  
代替提供機能（バックアップ）**

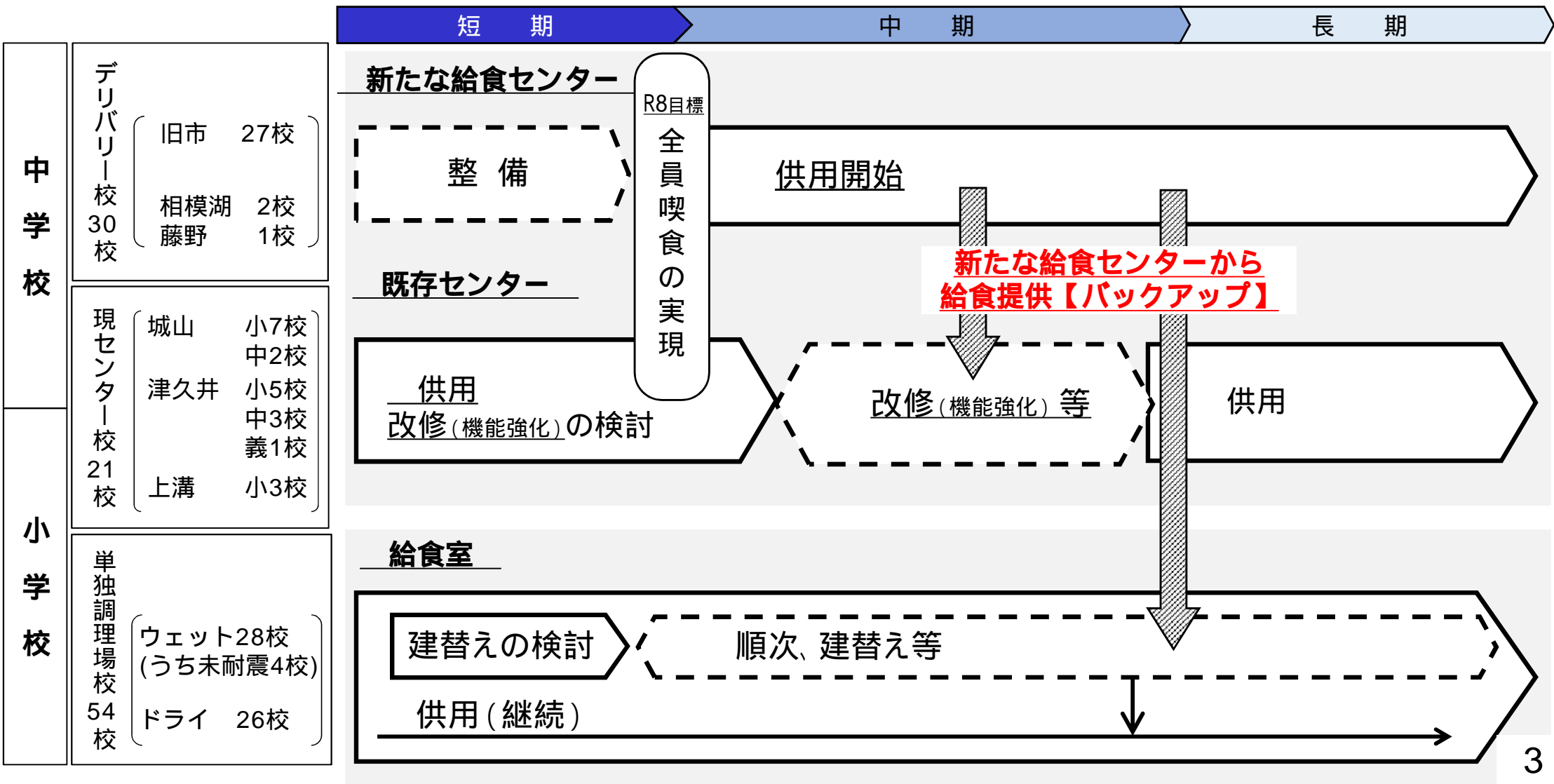
#### 既存給食施設

- |            |              |
|------------|--------------|
| [ 小学校給食室 ] | [ 既存給食センター ] |
| ・ 老朽化への対応  | ・ 老朽化等への対応   |
| ・ 衛生管理面の改善 |              |

# 1 第3回 学校給食あり方検討委員会（令和4年10月6日）について（報告）

新たな給食センターを中心に中学校給食の全員喫食を実現

中長期的には、既存センターの改修（機能強化）、小学校給食室の建替え時の代替提供（バックアップ）等に新たな給食センターを活用



## 2 給食センターのモデルプランについて

## 平面イメージ

### 学校給食衛生管理基準への適合

#### 作業区域の区分

- ・ 汚染/非汚染作業区域
- ・ 調理動線のワンルート化  
(野菜、肉・魚類、炊飯ごとに汚染から非汚染への一方通行となる作業動線を形成)

- ← 野菜類調理動線    ←..... 配缶・積込動線
- ← 肉・魚類調理動線    ← 食缶等回収動線
- ← 炊飯動線

- ドライシステムの採用  
(床を乾いた状態で使用できる設備)
- 調理場の適温管理
- 食品の適温保管
- 調理器具等の適切な洗浄、保管

### ■ 食物アレルギーへの対応

- アレルギー用調理室

### ■ 災害時機能

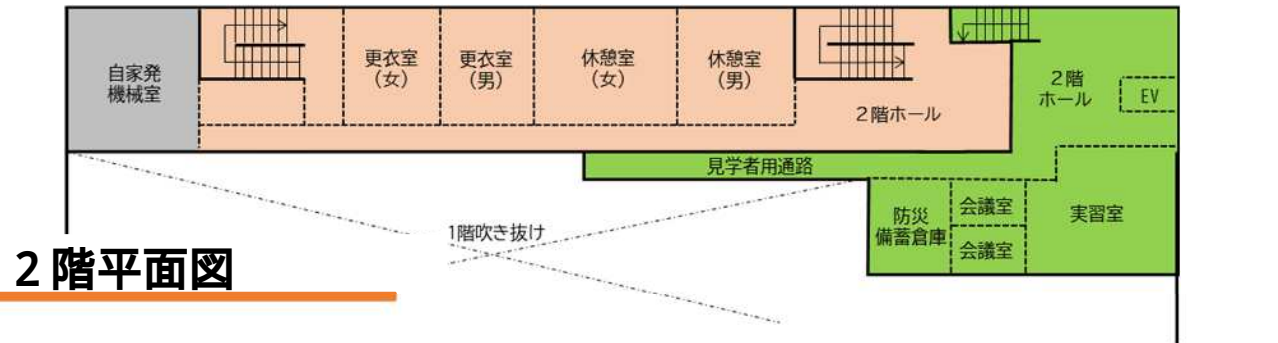
- 炊き出しに対応した炊飯設備
- 防災備蓄倉庫

### 食育関連

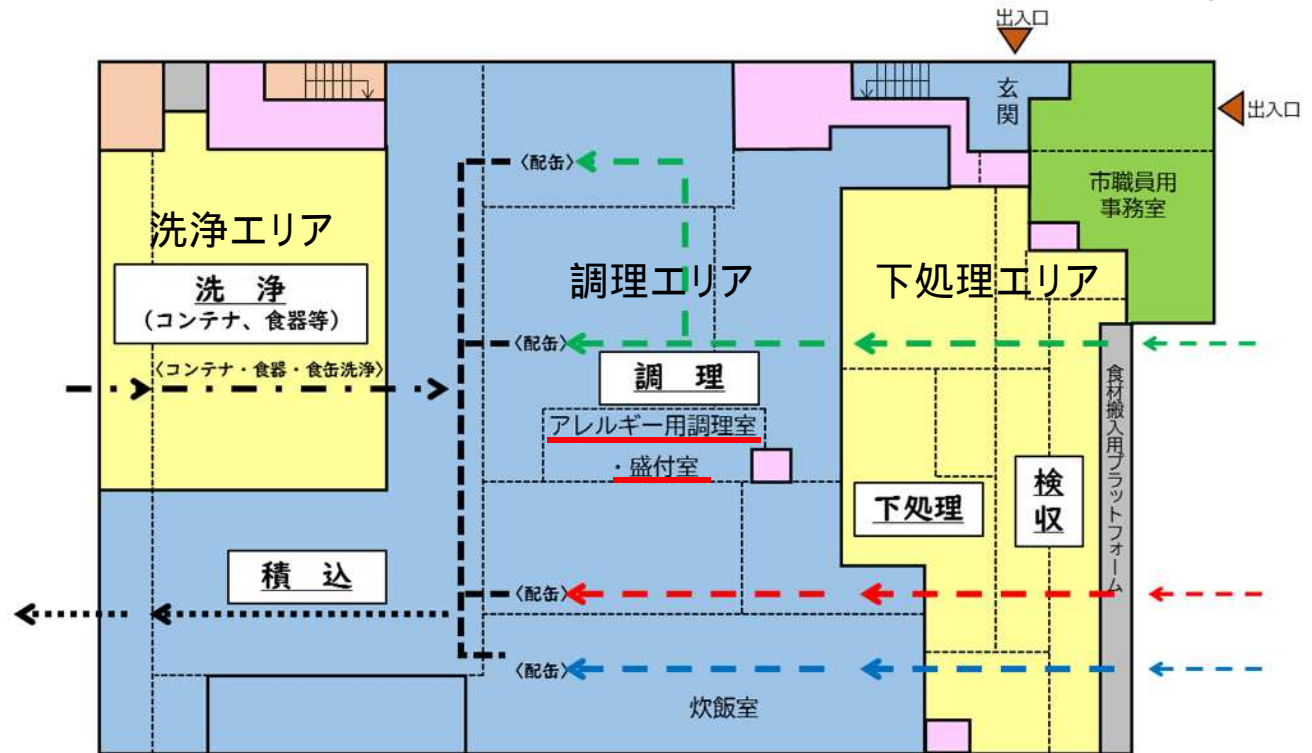
- 見学通路、実習室

### 環境配慮関連

- 太陽光パネル など



2階平面図



1階平面図

#### 凡例





### 3 概算事業費について

この事業費はモデルプランに基づき算定したもので、実際の建設地・インフラの状況により変動する

#### 中学校給食の全員喫食の実現

すべて公設公営（調理業務等は民間委託）で実施した場合

	項目	事業費	財源内訳			<参考> 交付税措置 を見込んだ 市負担額
			国庫補助金	市債	一般財源	
初期投資	センター整備（2か所）	98億円	11億円	69億円	18億円	81億円
	その他備品等	5億円	-	-	5億円	5億円
	中学校配膳室整備（16校）	7億円	-	-	7億円	7億円
	用地取得費等	建設地に応じて、別途必要				
合計		110億円	11億円	69億円	30億円	93億円

	項目	事業費
運営管理	運営管理 （調理・配送・配膳等）	11億円/年
	修繕・更新	2億円/年
	栄養士の人件費等 （人件費、扶助費、公会計等）	運営方法、生徒数などによる

#### 【その他検討事項】

- ・PFIなど民間活力の活用等について検討中

[算出条件等]

令和4年8月時点での積算に基づいており、物価・人件費等の上昇は加味していない

環境配慮設備、付帯施設などの付加機能は現在検討中であり、現時点では見込んでいない

特定財源・交付税措置は、現行制度によるもので、今後、変更する可能性がある

#### 既存給食施設の改善

【短期】（R5-R9想定）

小学校給食室の耐震改修 4校  
10億円

【中長期】

- ・城山給食センターの機能強化（津久井給食センターの廃止）
- ・小学校給食室のドライシステム化の推進 など

## 4 給食センターの候補地について

### 配送圏域〔南側〕における候補地比較

No.	名称	面積	所有状況	土地状況	主な課題 等
1	旧 東清掃事業所 【準工業地域】	[ 約2.2ha ]	[ 市有地 ]	[ 既存建築物 ] ( 解体撤去 )	・ 土壌調査  <b>最も有力な候補地</b>
2	旧 南部粗大ごみ受入施設 / 相模台収集事務所 【市街化調整区域】	✕ [ 約0.5ha ]	[ 市有地 ]	[ 既存建築物 ] ( 簡易 )	・ 相模台収集事務所は稼働中  ( 旧南部粗大ごみ受入施設 0.24ha )
3	一般廃棄物最終処分場 候補地 【市街化調整区域】	[ 約9.7ha ]	✕ [ 一部民有地 ]	✕ 〔 要造成 〕	・ 公園・緑地 ・ 最終処分場との両立不可
4	旧 青陵高等学校 【市街化調整区域】	[ 約3.1ha ]	[ 県有地 ]	[ 既存建築物 ] ( 解体撤去 )	・ 給食センター以外部分の利用

旧 東清掃事業所 を最有力候補地として今後調整  
地域等への説明  
配送圏域内の中学校(17校)への配送検証 など